

介護予防事業について

令和8年2月24日(火)14:00~

古賀市 健康福祉部 健康介護課 健康づくり係

地域活動サポートセンターゆい

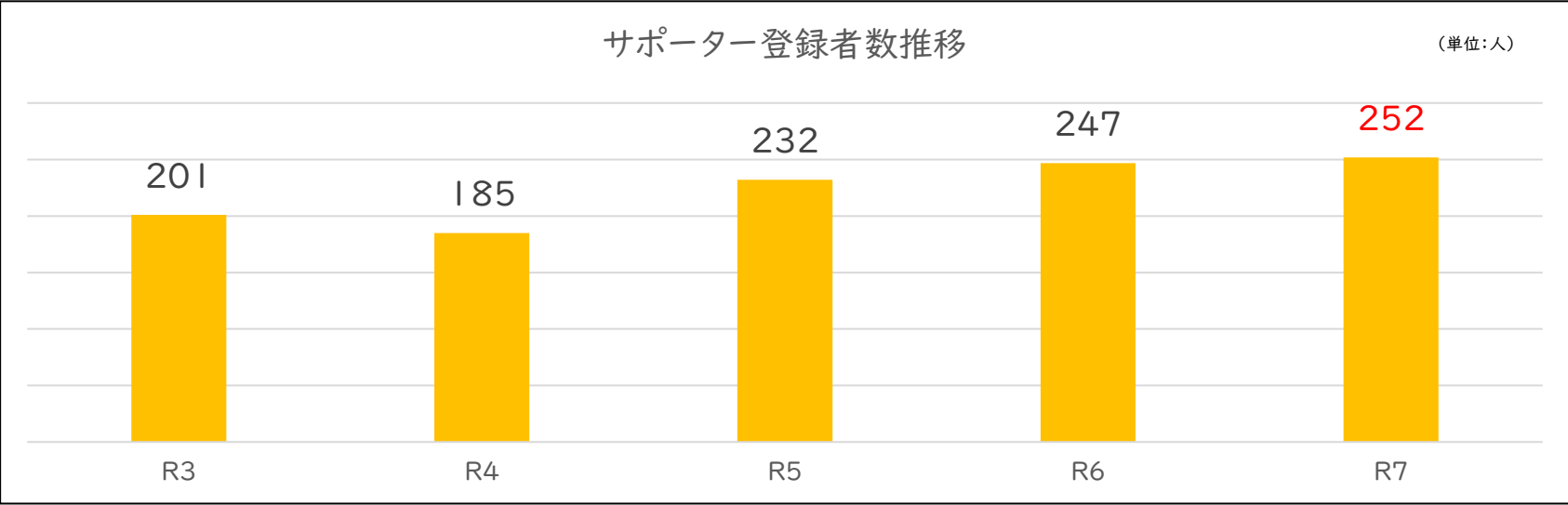
地域のつどいの場や高齢者施設でボランティア活動を行う担い手を育成することにより、地域における介護予防活動を推進する。ボランティア活動を行うことにより、自身の生きがいづくりや、社会参加を通じた介護予防・健康の増進の促進を図る。

●介護予防サポーター登録者数

介護予防サポーター	252人
-----------	------



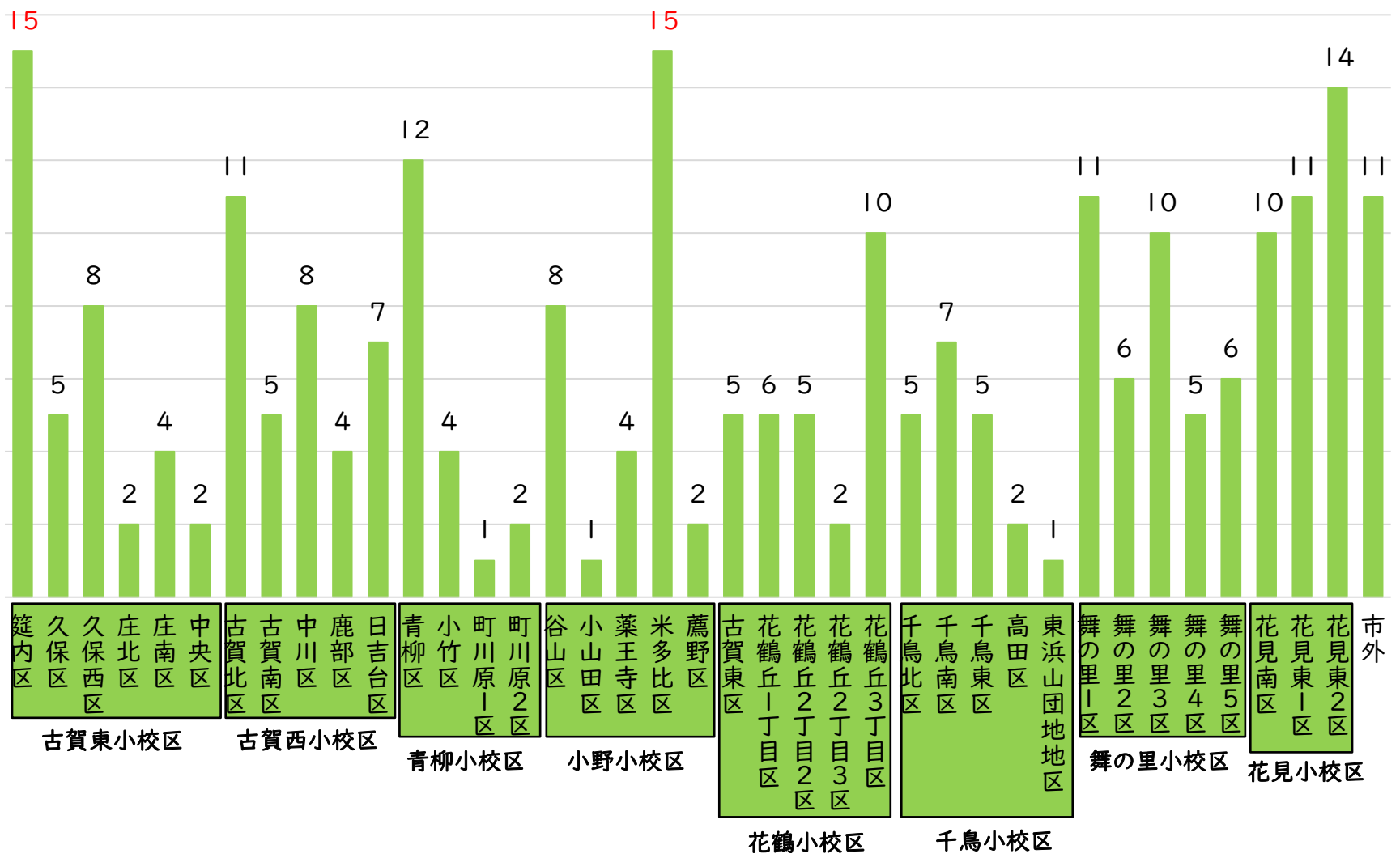
●介護予防サポーター登録者数推移 (R3~R7)



●介護予防サポーター行政区別人数 全39行政区(2025年)

小学校区別の人数

(単位:人)

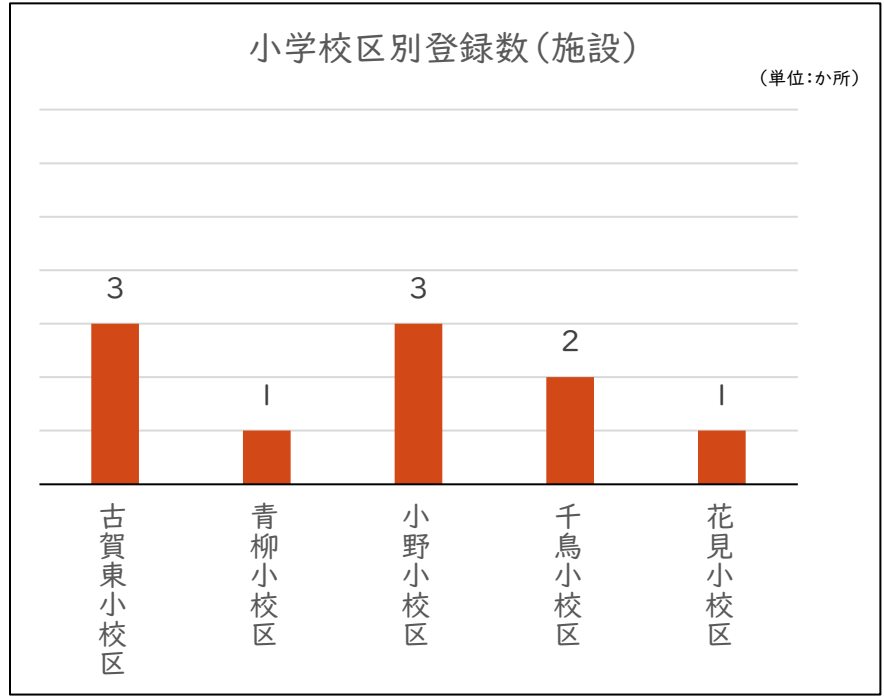
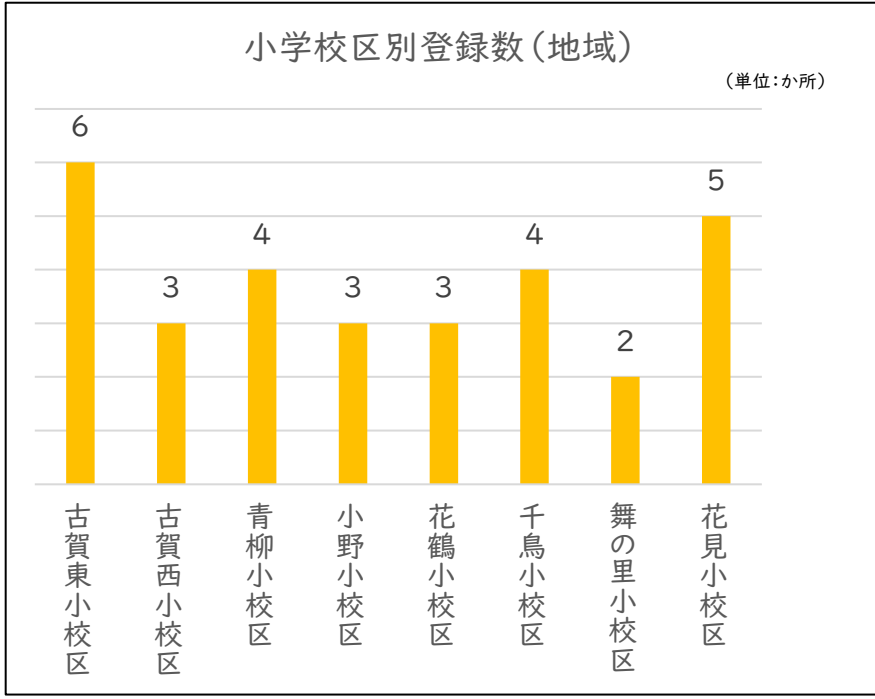


※介護予防サポーターのいない行政区

古賀団地区、新原区、今在家区、病院区、花鶴丘2丁目1区、さや団地区、千鳥タウンコート区、北花見区

●つどいの場等での定期的な支援

地域・施設等登録数	40か所 内訳：地域：30か所、施設：10か所
-----------	----------------------------



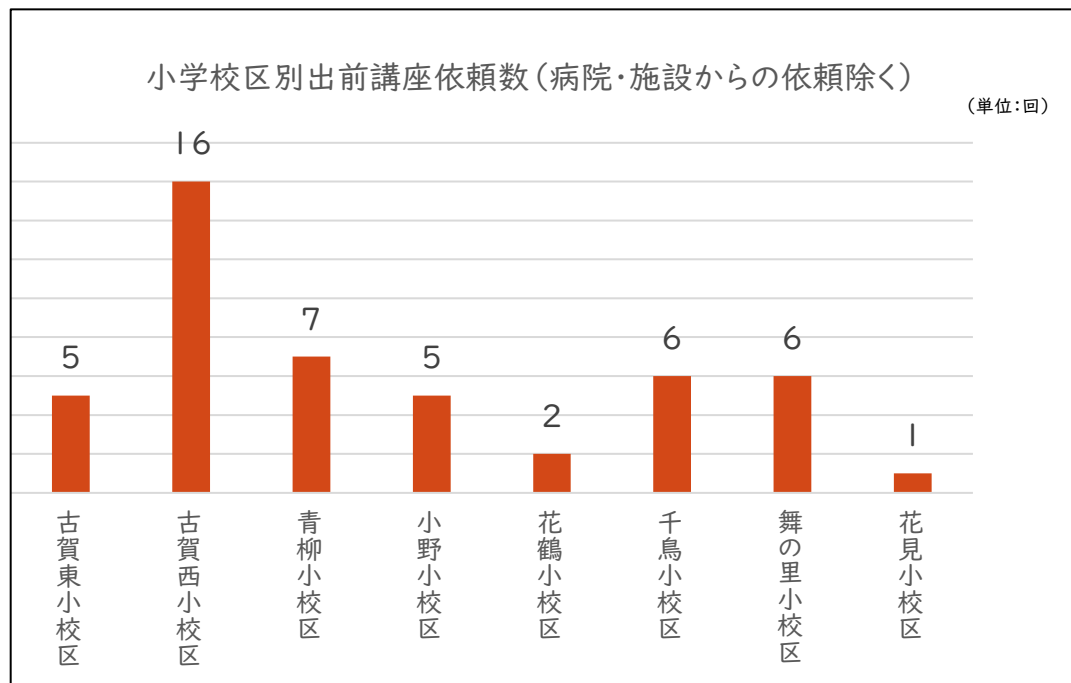
※施設未登録小学校区
古賀西小校区、花鶴小校区、舞の里小校区

●つどいの場等での定期的な支援登録推移

R3	R4	R5	R6	R7
42か所	35か所	40か所	38か所	40か所

●つどいの場等への出前講座等単発の支援（職員対応分含む）

単発支援回数	53回
参加者数	延べ1,060人
活動サポーター数	延べ153人



●新規人材育成

講座名	期間・回数	受講人数
ちょい足し研修	5月～6月・3回	22人
ゆいサポビギナー教室	6月～3月・11講座	54人

※令和7年度

- ・運動サポーター・音楽サポーターの導入講座として「ちょい足し講座」を実施。
計3回、22人受講。
うち数人は運動・音楽サポーターとしての活動意志があり、ステップアップ研修（フォローアップ研修）に案内。
- ・ゆいサポビギナー教室 11教室実施中。次年度は介護予防サポーターとして登録して活動していただけるか現在各教室で声掛け中。

●既存のサポーターへの活動のフォローアップ

- ・運動、音楽サポーター向けフォローアップ研修（ステップアップ研修を兼ねる）
15回 延べ230人受講。
- ・サポーター等合同研修
1月30日に合同研修を実施。
58人受講（うち介護予防サポーター38人受講）
※健康づくり推進員、食生活改善推進員、介護予防サポーター



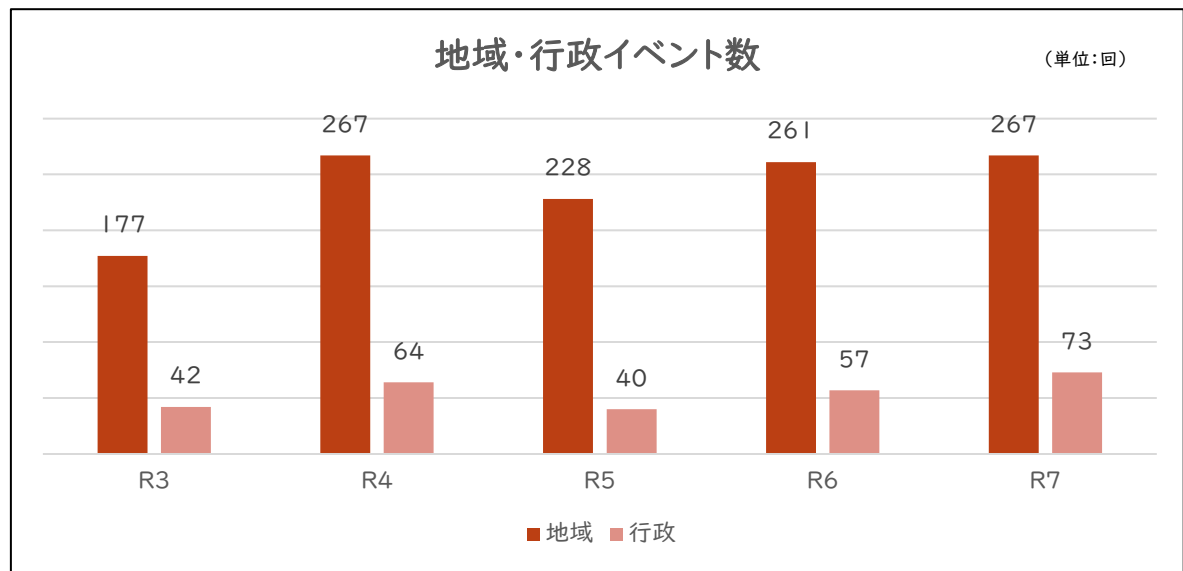
▲サポーター等合同研修の様子

高齢者の社会参加を促し、閉じこもりの予防と介護予防・健康づくりを推進する。

●高齢者外出促進事業

(令和7年度実績)

応募期間	令和7年7月1日(月)～令和8年2月3日(火)
応募枚数	※現在集計中



●こがんよか健康ポイントキャンペーン

(令和7年度実績)

期間	10月1日(火)～11月30日(日)
応募者数	87人(うち新宮在住者1名は無効) ※当選者40人

●活き生き音楽交流会 (令和7年度実績)

開催日時	12月11日(木) ※午前・午後の2部制
参加団体	19団体 ※うち1団体はゆいサポ 教室より参加
参加人数(見学者含む)	263人



●地域での体力測定会（令和7年度実績）

音楽活動に取り組む地域のつどいの場、シニアクラブ連合会等のつどいの場で身体機能や口腔機能等の測定会を実施。

自身の体力等を知るきっかけづくりだけでなく、生活状態や健康状態等に不安がある人がいたら、保健師や地域包括支援センター（圏域）に繋げることができる。

	回数	実施人数
シニアクラブ	14回	250人
音楽活動	10回	96人
出前講座	4回	59人

*シニアクラブと音楽活動で重複が1か所あり



●いきいきボールンピック大会

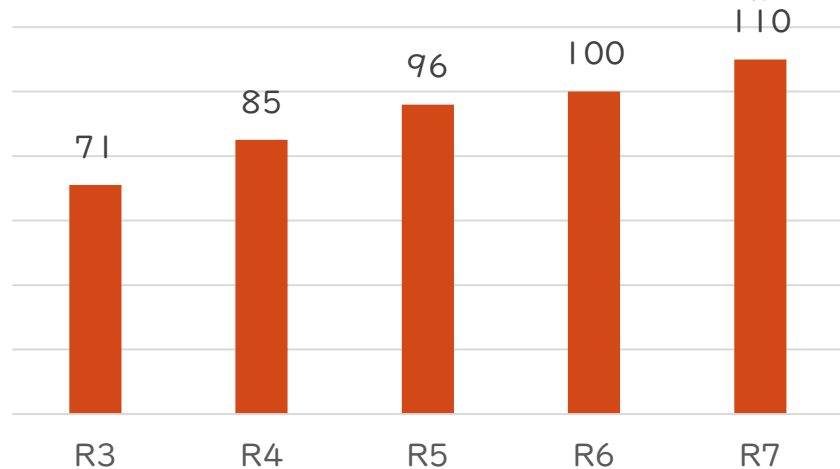
(令和7年度実績)

開催日時	予選:9月17日(水)~10月25(土) 決勝:11月6日(木)
参加チーム	予選:110チーム 決勝:15チーム
参加人数(応援者含む)	予選:延べ676人 決勝:150人



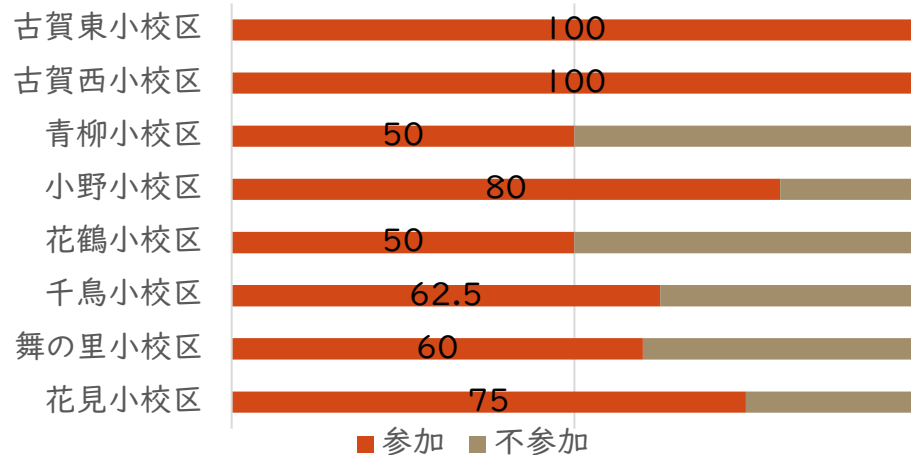
いきいきボールンピック大会参加チーム数推移

(単位:チーム)



令和7年度いきいきボールンピック大会校別参加割合

(単位:%)



課題と今後の対策について

●外出促進（お出かけシール）の事業内容の整理

→全行政区がイベント登録をしておらず、お出かけシールの配布にも偏りが見られる。また、同一人物による複数口の応募が確認されることから、事業が本来の目的である閉じこもり予防に繋がっているか、改めて検証する必要がある。

●介護予防サポーター数や地域活動において、偏りがみられる。

→介護予防サポーターや活動が少ない地域における重点的な周知啓発を行う。

●地域支援のマッチング・コーディネート

→サポーター登録者数に対し、実際に施設等で活動できていない方がいるため、地域や市内の施設への啓発を強化しニーズに合った介護予防サポーターを派遣する。

●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

【目的】

人生100年時代を見据え、高齢者ができる限り長く自立した日常生活を送ることができるよう、**生活習慣病等の発症や重症化の予防及び心身機能の低下**を防止するための支援を行うことで、自分らしく健やかに安心して過ごせる社会の構築をめざす。

(令和7年度実績)

①個別支援(ハイリスクアプローチ)

【重症化予防(糖尿病性腎症)】

- ・後期高齢者健康診査における血糖値のコントロール不良者
- ・糖尿病治療中断者

対象者	介入数
33人	28人

【重症化予防(その他の生活習慣病)】

- ・後期高齢者健康診査における血圧のコントロール不良者
- ・高血圧治療中断者

対象者	介入数
203人	188人

【健康状態不明者対策】

- ・医療機関受診も健診も受診していない者(75~79歳)

対象者	介入数
84人	62人

※80歳以上は、福祉相談係(地域包括支援センター)に情報提供

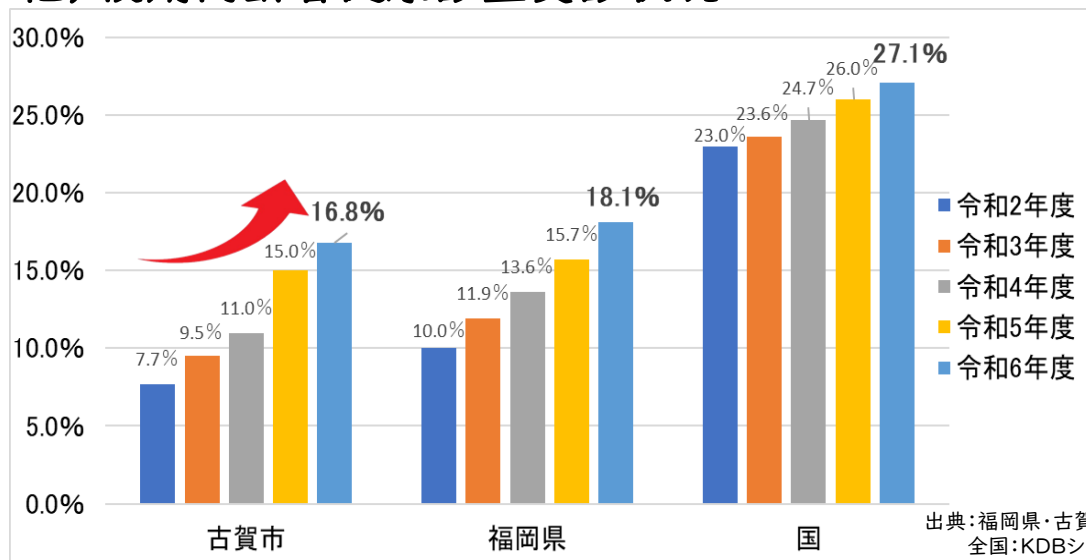
②通いの場等を活用した保健事業(ポピュレーションアプローチ)

【健康教育・健康相談・フレイル状態の把握】

地域出前講座を活用した健康測定、体力測定等:23回

【低栄養・フレイル予防教室】:令和8年3月実施予定

その他)後期高齢者健康診査受診状況



出典:福岡県・古賀市:後期高齢者広域連合データ(毎年度5~4月累計)
全国:KDBシステム 健診・医療・介護データからみる地域の課題(毎年度4~3月累計)

課題と今後の対策について

- 健康状態不明者等は、福祉課や地域包括支援センターへつないだ方も多く、多様な健康課題を抱える高齢者が増加している。今後も関係機関との密な連携により、早期の支援に努める。
- 後期高齢者健康診査の受診率は、年々上昇しているものの、国や県と比較すると低く、後期高齢者がわかりやすい周知啓発を実施する。